

## へバーデン結節



人差し指から小指にかけて第1関節が赤くはれたり曲がったりします

4月5日に、多摩モノレール万願寺駅徒歩3分に開院した「たいら手の外科・整形外科」の院長・平良貴志先生。リハビリテーションや栄養指導にも力を入れている平良先生に、女性に多い手指の病気、「へバーデン結節」について聞きました。

「へバーデン結節は、手指の第1関節が腫れたり、曲がったりする病気です。痛みを伴うこともあり、症状を繰り返し、関節の変形が進行していきます。発症の原因は特定されていませんが、40代以降の女性に多いため、女性ホルモンと関連して起こるのではないかとわれています」

「治療法は？」

「漢方を用いた服薬治療を行います。また、症状によっては注射を用いることもあります。痛みが改善しない場合や変形が気になる場合は手術という方法もあります。治療方法については医師と相談を。」

「へバーデン結節の患者さんのなかには、変形の進行や痛みがとまらず、長年、痛みを繰り返す人もいます。症状の進行に合わせた治療がありますので年齢のせいだと諦めないで、症状に気づいたら、早めに整形外科の医師の診断を。治療法の選択の幅も広がります」

院長:平良貴志  
日本整形外科学会認定  
整形外科専門医

☎042-587-5530

日野市石田2-9-17  
多摩モノレール「万願寺」駅  
下車徒歩3分



休診日:金・日曜、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	/	●	/
14:00~17:30	●	●	●	●	/	●	/